

第2回宮崎県まぐろ部会

宮崎県まぐろ部会（俵伸二会長）は7月28日（金）、宮崎県水産会館5階大研修室にて第2回まぐろ部会を開催した。会議では先般東京で開催された近海まぐろ問題検討会の内容について、（一社）全国近海かつお・まぐろ漁業協会の納富専務より各県の意見について報告がなされ、令和6管理年度以降のクロマグロ（大型魚）の管理設定基準について宮崎県としての意見を取りまとめた。各県より提出された意見は水産庁より国の水産政策審議会に提出され、協議の結果で来季の設定基準が決定されることとなる。宮崎県の意見は下記のとおり。

※令和6管理年度以降（令和6年1月1日～）のくろまぐろ「大型魚IQ」管理に係る設定基準について

1. 漁獲実績の取り扱い（現行は2018年～2020年の3年間の漁獲実績の合計）

・**2020年・2022年の2年を要望する。**

2. 実績割と均等割りの配分（現行は実績割70%：均等割30%）

・**実績割60%：均等割40%、実績割50%：均等割50%の2つを要望する。**

3. 漁獲割当割合（%）の有効期間

・**2年間を要望する**